学校番号	T1206

令和８年度　外国語科（ 英語 ）

教　　科	外国語科	科目	(通)(学) 英語Ⅰ入門	単位数	３単位	年次	３・４年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語Ⅰ入門の授業では、1・2年で学んだ文法事項の総復習をして、より発展した内容を取り扱います。
・1・2年で使用した教科書を活用して、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」といった、４技能５領域の力をつける授業です。
・基本的な英語を理解することができ、それを使って表現することができるように学習しましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	・簡単な内容を理解することができる。 ・ゆっくりと平易な表現で話されれば、会話の内容を理解することができる。	・簡単な文章を理解することができる。 ・要点を的確にとらえることができる。 ・全体を把握して、要約することができる。	・簡単な語句や表現を使って、尋ねたり、返答することができる。	・簡単な語句や表現を使って、身近な出来事について話すことができる。	・簡単な文章を書くことができる。 ・短い文章を書くことができる。 ・短いメモを書くことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文章の要点を短時間で正確に把握する力を身に付けている。 読解を支える語彙力を体系的に習得している。 内容理解をともなった速読ができる。	文章全体を統合的に捉え、要点を整理して表現できる。 根拠に基づいて内容を説明することができる。 論理的に考え、自分の考えを簡潔にまとめる力を身に付けている。	言葉の価値や意義を理解し、主体的に言語活動に取り組む態度をもっている。 他者との関わりの中で、自らが理解を深めようとする姿勢を育んでいる。
上記に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期 1 ～ 16	・時制 (現在･過去･現在完了) ・比較表現 ・受動態	聞くこと	a: 音声教材の内容を聞き、単語やフレーズを聞き取ることができる。 b: 画像等の視覚的情報があれば、内容を理解することができる。 c: 必要な情報を聞き取ろうとしている。	授業中 (リスニング)
		読むこと	a: 現在と過去の時制に気をつけて内容を理解することができる。 b: 文章を読み、概要をとらえることができる。 c: 文章を読み、概要をとらえようとしている。	定期考査 (リーディング)
		話すこと (やりとり)	a: 現在と過去の時制を適切に使い分けて話すことができる。 b: 例文を活用し、発話ができる。 c: 文法を理解し、発話しようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 現在・過去・現在完了の時制を適切に使い分けて、英文を書くことができる。 b: 例文を活用し、英文を書くことができる。 c: 文法を理解し、英文を書こうとしている。	定期考査 (ライティング)

＊ 表中の観点について

a. 知識・技能　　b. 思考・判断・表現　　c. 主体的に学習に散り組む態度